

薬

Art gallery

第十展示室 メモ帳

このメモ帳は多くの種類が作られました。今回は現在も販売されている根強い人気のロングセラー「伝統家庭薬のものを取り上げました。

このメモ帳は多くの種類が作られました。今回は現在も販売されている根強い人気のロングセラー「伝統家庭薬のものを取り上げました。

その昔、富山などの置き薬屋さんがおみやげに用いたアイテムには、第八展示室（M1-L59号）で紹介した売薬版画や第九展示室（M1-L60号）に登場した紙風船などがありました。

では、街の薬局で配られた景品（販促品）は、今とは比べものにならないほどバラエティに富んでいました。特に子どもに的を絞った景品にはおもちゃを筆頭に鉛筆、消しゴム、下敷き、ノート、そして今回ご紹介するメモ帳などの文房具がありました。



仁丹／ハンガリアの王宮兵 明治38年（1905）発売の口中清涼剤。商標の「大礼服マーク」の由来はビスマルク、伊藤博文の長男など諸説ある。



113mm
74mm



わかもと／水陸両用旅客機（米国）
昭和4年（1929）に発売された酵母製剤。「わかもと」は若さの素から付いた商品名。現在は「強力わかもと」。



養命酒／ローマの防空圏
慶長7年（1602）に創製された薬用酒のトップブランド。現在も発祥の地、信州の駒ヶ根エリアで作られている。



ノーシン／熊の母子
大正7年（1918）に発売された鎮痛剤。散剤の包装形態は発売当時から変わらず、今も薬包紙を使っている。



固形浅田飴／餌を喰べるライオン
発売当初は水飴タイプのみであった。現在と同じ形状の固形浅田飴が完成したのは大正15年（1926）のこと。



キンカン／着陸しやうとする鷗
昭和5年（1930）発売当時はやけど治療薬として販売された。戦後、肩こりや虫さされなどにも使用される常備薬に。



救心／野牛
創業家の家伝薬が救心の原点。大正2年（1913）浅草に薬房を開き「ホリ六神丸」という名称で発売したのがはじまり。

<参考資料> 家庭薬ロングセラーの秘密（薬事日報社） ※表紙画のタイトルおよび健康十訓は歴史的仮名遣い・正字のまま。